

思い出を懐かしんでいただくために、女学校卒業生を対象に「感謝の集い」を計画している。

来年行う予定だし、別途案内は送ることになっているが、お近くやお知り合いに女学校卒業生がいればぜひ声をかけていただきたい、

との挨拶がありました。

続いて、光田校長より周防大島高校の現状として、

・開校以来5年を経たが、安下庄校舎（普通科）に156名、久賀校舎（福祉科）に84名の生徒が在籍し、それぞれの分野で頑張っている。

・山口国体にはボート、アーチェリーが出場したが、残念ながら予選通過できなかった。ただ、アーチェリーはこれから選抜大会に出場する。

・野球部は今年の夏の大会で、山口代表として甲子園に出場した柳井学園を一番苦しめた。

また、今日（11月23日）行われる予定だった一年生大会が雨で中止になったため優勝がお預けになったが、一年生に良いピッチャーがいるので来夏は期待できると考えている、

と報告され、引き続きの支援が要請されました。

乾杯の音頭をお願いした河原さん（4回卒）からは乾杯の後、「今日の勤労感謝の日を休めるのも、休まないで仕事に勤しんでいる方々がいるお陰であることに思いを馳せることが大切」というお話しがあり、また熊谷さん（9回卒）からは懇親会のなかで「今の日本は大変な時期であるが、それだけに今日の集いを楽しく有意義なものにしたい」とのお話しがありました。

以上、今回の総会並びに懇親会は、例年と同窓会並びに母校を取り巻く環境を直接の当事者である会長、校長から聞くだけでなく、県外からの多くの出席者を得て幅広く交流が図れた貴重な機会でもありました。

今後とも、私ども役員は同窓会の発展、周防大島高校の発展に精一杯の努力をさせていただきますが、年々の出席者も限定されてきていますので、来年はぜひ出席をお考えいただくようお願いいたします。

以上が拙いものではありますが、今年度の支部総会並びに懇親会の報告です。

それでは、あと僅かとなりました今年をつつがなくお過ごしになり、皆様お揃いで良い新年を迎えられますよう心よりお祈りし、来年の出席を重ねてお願いして報告といたします。

敬具

（同封資料）

① 平成23年度 広島支部総会資料

② 久賀高校同窓会報特集号、及び県教委への請願書、異議申し立て、県教委からの回答

③ 周防大島高校リーフレット「周防大島で学ぼう」

以上